

令和5年度 学校運営協議会評価報告書2

鳥取県立米子養護学校

学校長 本 間 隆 之

評価日	令和6年2月20日（火）	
評価・提言	学校の所見・改善策	
1 重点目標の達成状況について ○地域進出、地域交流の推進 ◎ ・公民館祭での作業製品の展示即売会は地域の方も初めてで好評だった。また、地域の人権教育研修会の講師をしてもらい、学校経営・児童生徒の理解につながった。 2 目標達成のための取組結果について ○全ての評価項目 → 評価の承認済み （高等部・教務部・人権教育部・進路指導部）目標が幅広く難易度が高い。評価が「永遠のB」にならないようにしていく必要がある。できていない事だけでなくできている事に焦点を当てる。 （高等部）他者とのかわり方は次のステップで目指してはどうか？ （中学部）アンケートの取り方に工夫がいるのではないかな。 （研究部）何が参考になって次どうしたらいいのかまで話ができれば。 （保健安全部）良い取り組みなのでA以上でもよい。 3 具体目標の達成状況について （進路指導部）進路担当以外の人も事業所の情報をたくさん知っておくことは必要。 ・1か所の体験だけして決めるのではなく、それぞれ特色、内容が違うのでいろいろな所を体験して決めてもらう方がよいのではないかな。 ・保護者全員が思う方向に向かうのは難しい。学校ができる限りやっても企業側の理由で採用できないこともある。 4 目標達成のために取り組んだ具体方策について （教育支援部）引き続き、存在感をアピールする。 （進路指導部）こういう状況だとできるがこれだと難しいという生徒の実態を引き継げるようにしては。ただどこまで開示できるかな？ （表現活動推進部）12月の神楽公演はお客さんに喜んでもらえた。高等部3年生が卒業後に活動する場が持てたらいい。 （体力づくり推進部）様々な大会に参加できていてすごい。卒業後は大会の案内があっても個人での参加は難しいので参加できなくなってしまう。合同のイベントにする等どちらにもメリットがあるようなことをすれば、目指しているコミュニティ・スクール像になっていき長続きするのでは。 5 その他 ○保護者評価について説明 ・電話対応方法の統一 ○令和6年度学校経営方針（案）→承認済 ・地域とのつながりを持てた1年。イベントや、製品販売をとおして多くの方に知ってもらいたい。	○令和6年度地域学校協働活動推進校として、この協議会での話し合いが地域活動に結びつくようにする。 ○1年間で達成できそうな「評価の具体項目」「目標（年度末の目指す姿）」を設定する。 ○難易度が高い目標は、更に具体的にして焦点化する。 ○児童生徒のその時の気分や学習内容によって、アンケート評価が変わってしまわないよう、正しく評価できる工夫する。 ○担任との情報共有や教職員全体研修会の実施、進路懇談会や進路だよりでの情報提供を継続して取り組む。 ○OPTA主催の事業所見学研修会を継続実施する。 ○保護者のニーズに寄り添いながら見学を進めていく。 ○卒業生の居場所づくりに結びつくような地域活動を今後検討する。 ○スポーツ関係は、計画を新たに作り直している。 ・集計結果と質問に対する回答は保護者に配布。 ・電話対応方法は職員会で周知済み ・運営協議会後、教職員に説明済み。	

